

にじのかけはし

乳幼児期は、心身の発達とともに、生活習慣を身につけていく時期です。
今回は「あそび」についてです。周りの大人はどう関わればいいのか、

支援センターでは、子どもが何かしたこと見せたもの等の出来事に、おうちの方が手をたたいて喜び、スキンシップをとられたりしている場をよく見かけます。大人の笑顔が子どもを包み、温かい幸せな空気が流れるひとときでもあります。

乳児の頃から、子どもは積木やブロックを積んで倒す遊びを繰り返して楽しむことがあります。そんな時、「上手に積めたね」「高いのが出来たね」「倒れてびっくりしたね」と、視線を合わせて子どもの気持ちを言葉にして、たくさんつきあってあげて欲しいと思います。

4～5歳の頃になると、ヒーローやおうちの人になったつもり「ごっこ遊び」を楽しむようになります。自分で考えたり、想像したり、「あれっ？」と不思議に思ったり、心や感情が豊かに育っていきます。

大人は、『同じ場所であそびを見守り、子どもの心の動きと一緒に感じて応答する』ことを意識して関わりたいですね。

子どもの頃の「あそび」は、成長の糧となり人生を豊かにします。
関わる大人も子どもとの遊びを存分に楽しみましょう。



ぴよぴよミニ講座ご案内

専門分野の講師を招き、親も子も前向きに元気になれる講座を毎月開催しています。

- ・2月25日は「離乳食のすすめ方～初期から後期～」です。
- ・3月25日は「大丈夫！自分も子どもも好きになる子育ての方法～二人に合った子育てを目指して～」、心理士による講話です。子育て中は、「私、頑張っているのになぜ？」「これでいいのかしら？」と悩んだり迷うことも多いですね。お話を聞けば、少しほっとして肩の力も抜けるのではないかと思います。色々な考えに触れるひとときをご一緒いたしましょう。

おすすめの絵本



はねちゃんは、きりんと「うーん」と背伸び、がちょうと一緒に「ががあがあ」と川まで行進。お子さんと一緒に、はねちゃんや動物たちに負けないうらいに体操をしてみませんか。

ふれあいあそび はねはね はねちゃん

絵本に合わせて、きりんさん、くまさん、がちょうさん、かめさん、うさぎさん、になってあそびましょう。

※絵本に触れた時、動物の鳴きまねやしぐさ、食べ物を食べるしぐさ、太陽や星の表現など親子で楽しんでみてください。

「にじのかけはし」は
6月、10月、2月の
情報カレンダー
と同時発行致します。

発行／あかし子育て支援センター（明石市こども局子育て支援室子育て支援課）

〒673-0891 明石市大明石町1-6-1

Tel 078-918-5597 Fax 078-918-6191

開所日時： 9:00～17:00 <休所日は毎月最終水曜日・年末年始>

対象者：0歳～就学前の子どもと保護者（こども図書室は小学6年生まで）